

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名		建築協定受付事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	坂口 和也
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	平田 政臣
	基本事業	17	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線)	2242
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10156	法令根拠	建築基準法	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	建築基準法により、一部の区域の環境や利便性を高めるために土地の所有者が協定を締結する申請の受け付け及び県への進達事務を行う昭和46年5月17日に都市計画法が施行されてから、市内においてさらに利便性の高い区域が必要とする人がいるため。平成10年以後は、地区計画で利便性の高い区域づくりを定める地区が多かった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	建築協定申請の受け付け⇒地権者の意見を聞く公聴会の開催⇒県への進達
【主な予算費目】	予算無し
【意見や要望】	申請者からは、「市街化区域内は建築協定が、いいまちづくりが出来る」との意見があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	建築協定申請の受け付け、公聴会の開催、県への進達業務	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 前年度と同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア 受付件数	⇒ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内に計画する建築協定	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
⇒ ア	⇒ イ	⇒ ア 建築協定区域内の建築確認件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	良好なまちづくりができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
⇒ ア	⇒ イ	⇒ ア 建築協定区域内の違反建築物処理件数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 建築協定区域内での違反行為の防止のため。ここ数年の平均値で設定している。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	件	3	3	3	5	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	15	5	100	10	0	0	0
	(B)人件費計	千円	60	19	398	41	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	60	19	398	41	0	0	0

総トータルコスト  
全体計画  
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	建築協定受付事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 近年は地区計画制度を利用する者が多いため、建築協定はないと思われる
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果の向上を求めるような事業ではない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地区計画制度が始まったことから、建築協定の申請もなく対象指標、成果指標とも建築確認申請事前報告書の受付により確認できるため、建築基準法関係受付事務とし統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はない
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人件費しか計上していないので、削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての建築協定について合議を行っているので、公平である
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 建築協定についてはその地区の方達が行われるもので役割分担は適正である

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						